

## 地域のまちづくりに関する施策について

テーマ「福祉，健康，安全・安心」

「産業・経済，観光」

写真

(テーマに沿ったもの)

平成 27 年 2 月

宇都宮市河内自治会議

## も く じ

1. はじめに	1
2. テーマの設定	2
3. 提案への取り組み	4
4. 「福祉, 健康, 安全・安心」(平成25年度)	
(1) 現状と課題と目標	5
(2) 実現方策と実現プラン	6
5. 「産業・経済, 観光」(平成26年度)	
(1) 現状と課題と目標	9
(2) 実現方策と実現プラン	10
6. 審議の経緯	12
7. 委員名簿	13

### 表紙写真の説明

## 平成24年度提案書より

### 1 はじめに

地域のまちづくりに関する施策についての提案は、市長の諮問に応じて合併市町村基本計画の執行状況に対して意見を述べることも、自治会議が担う大きな役割であり、河内地域の目標像である『水と緑に囲まれ やさしい居住空間にあふれる住みやすい地域』の実現に向け、現在の地域の現状と課題を理解し、魅力ある地域の将来像を描き提案するものです。

これまで、第1期（平成19年度～20年度）においては、「暮らしやすく、触れ合い交流に満ちた地域に向けて」をテーマに6つの提案をしました。また、第2期（平成21年度～22年度）においては、「住みやすく、生きいきとした地域を目指して」をテーマに7つの提案をまいりました。

今回の提案にあたりましては、これまでの提案とはスタイルを変え、これからのまちづくりは地域が自ら取り組むことを基本に、住民自治の観点から次の3点を念頭に取り組みをはじめました。

- 地域の多くの人の意見を集約した提案とする。
- 自分たち（地域）に『何が出来るか』を常に意識する。
- 10年後の理想と実現性を描く。

このような考えのもと、現状の把握や課題の抽出、将来の予想などについて話し合い、取り組みの方向性を導き出して、地域全体でそれぞれの立場から目標に向かって活動できるよう、実行性（実効性）のある提案となるように心掛けました。

河内地域は、豊かな自然環境と住環境の整った住宅地域が調和しながら発展してきました。今後もこれらの地域の特性を生かしながら、特色あるまちづくりを進めていくためには、まちづくりを担う新たな人材を発掘し、地域活動のリーダーやボランティアの育成が求められています。さらに、地域の多くの方が力を合わせて、継続的に取り組む活動の場として、まちづくりや生涯学習の機能も兼ね備えた地域自治拠点の整備が急がれるところです。

今回の提案は、地域ができるものとしてまとめましたが、プランの実現にあたっては行政との協働が不可欠であり、行政のさらなる支援をお願いするものであります。

この提案書が、今後の河内地域のまちづくりを進めていくうえで、本市の中でもより一層輝きを増し、誇れる地域として持続的に発展していく一助となれば幸いです。

## 2. テーマの設定

### (1) 設定の考え方

これまで2回の提案におけるテーマの設定は、特定の分野に絞込み、これを掘り下げて検討していく手法を取っていました。

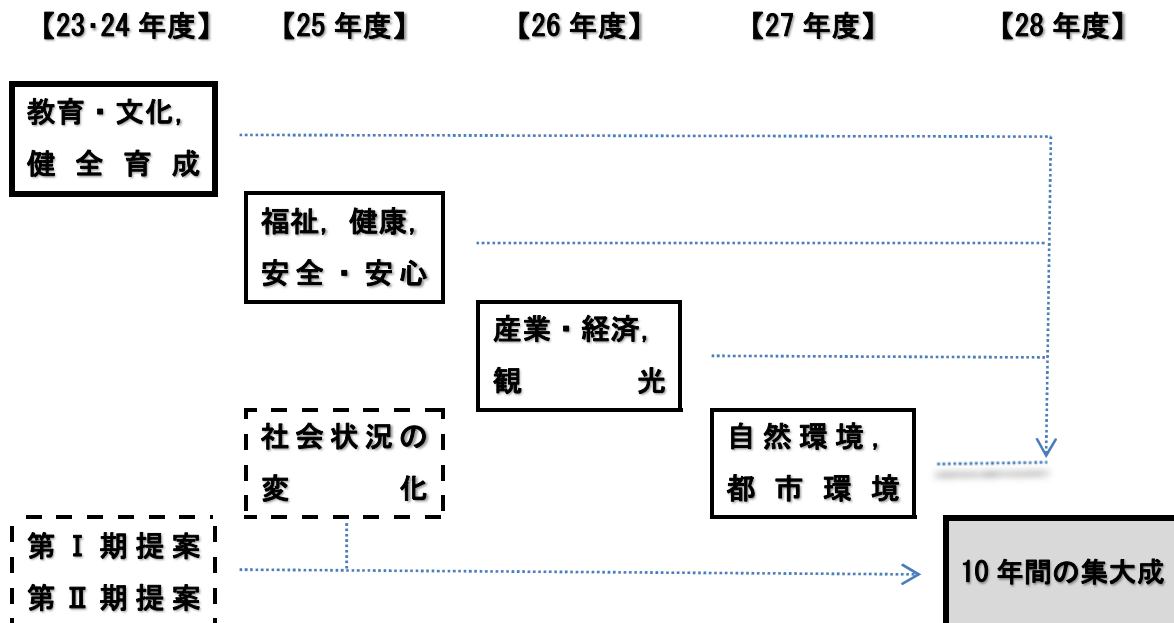
今回のテーマの設定にあたっては、合併後6年目を迎え自治会議も中間点を過ぎたことから、最終年度を見据えて長期的な視点に立って検討していくこととしました。

具体的には、地域の様々な課題をすべて洗い出し、分野別に体系化することにより、提案内容に統一性や継続性を持たせることとしました。

また、地域の10年後の姿をイメージし、地域の多くの皆さんが様々な形で、まちづくりに関わっていただけますよう、より身近でわかりやすい提案内容としました。

### (2) 計画的な取り組み

テーマの設定にあたりましては、宇都宮市が取り組む主要な施策としての25項目の中から、地域の特性等を考慮して9項目に絞り込みました。さらに、類似の分野を4つのテーマに集約して、下記のように計画的に取り組んでいくこととしました。

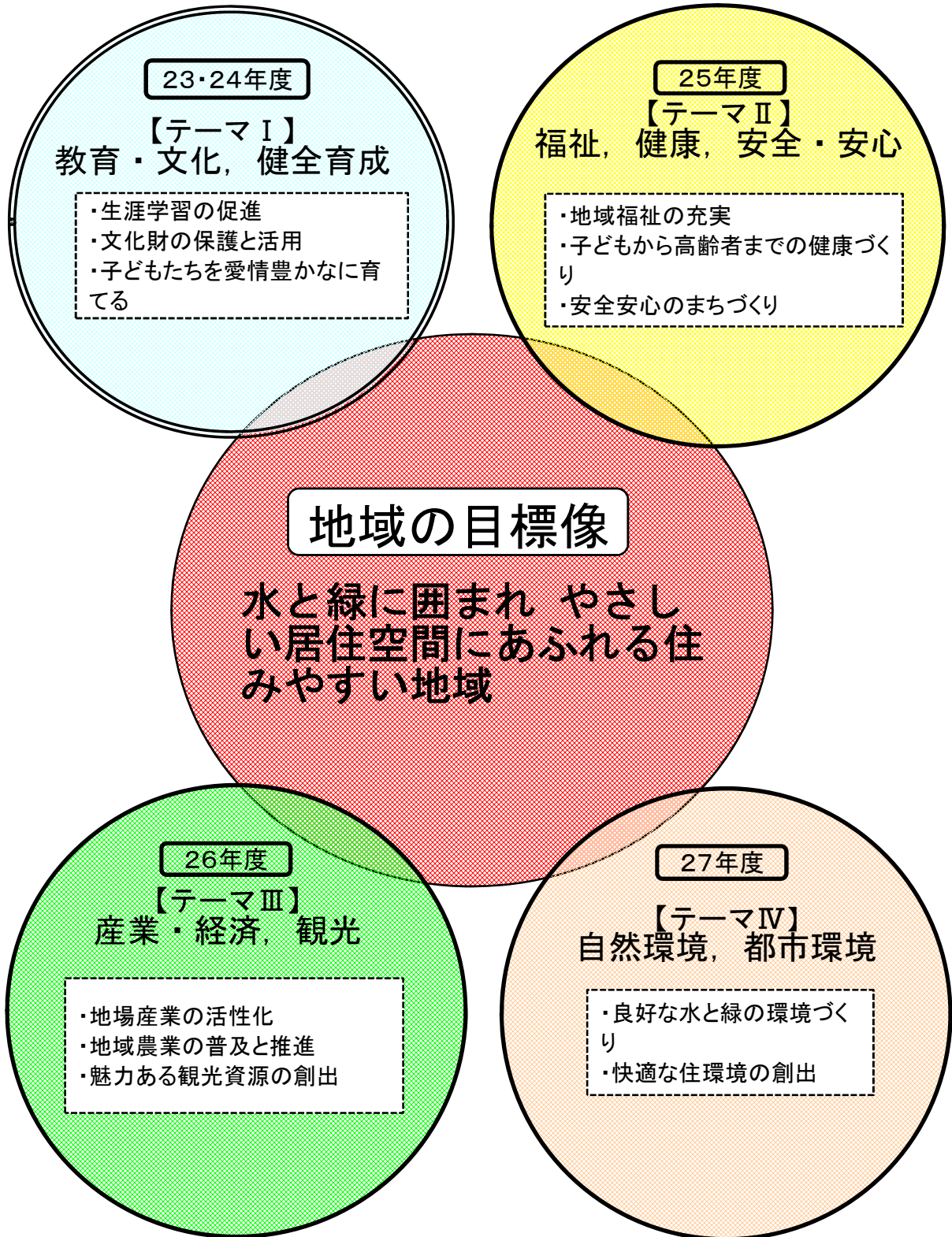


今期（23・24年度）は、4つのテーマのうち「教育・文化，健全育成」について検討し、このテーマについての提案を行いました。

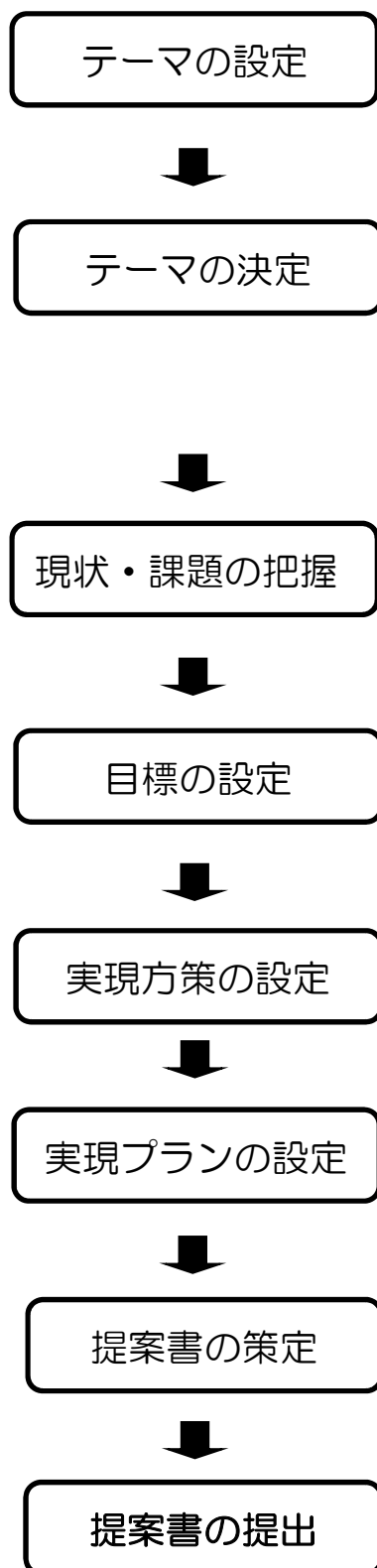
同じように次期の自治会議におきましては、25年度に「福祉，健康，安全・安心」を、26年度に「産業・経済，観光」を検討し、26年度末に合わせて提案します。

最終期の27年度は、「自然環境，都市環境」について検討し、すべてのテーマが整うこととなります。自治会議の最終年となる28年度には、これら4つのテーマについて、この間の社会状況の変化や第Ⅰ・Ⅱ期の提案等も踏まえて総合的に検討し、10年間の集大成として今後の地域のまちづくりに資する提案を行う予定です。

# まちづくり提案の体系図



### 3. 提案への取り組み



各委員より提出された施策項目をもとに、分野ごとにグループ化し、それぞれの見出しにテーマ名を設定しました。

9つのテーマを類似の4つのテーマに集約し、年度毎に取り組むテーマを決定しました。今期は「福祉、健康、安全・安心（平成25年度）」「産業・経済、観光（平成26年度）」について提案することとしました。

地域の強みや弱みなどを分析しながら現状を客観的に把握し、そこから読み取れる地域共有の課題を導き出しました。

導き出された4つの課題に対して、10年後の理想とする姿を予想しながら、今後、地域で取り組むまちづくりの目標を設定しました。

目標を実現するために必要な手段や手法について話し合い、方策（方向性）を設定しました。

実現方策を達成するための具体的な取り組みを審議し、実現プランとして設定しました。

これまで審議を重ねてきた内容を、今期の提案書としてまとめました。

まちづくりに関する施策の提案書を、市長あて提出しました。

#### 4. 「福祉, 健康, 安全・安心」(平成25年度)

##### (1) 現状と課題と目標

○⇒強み, ●⇒弱み

	福祉	健康	安全・安心
現状	<p>○福祉施設が充実して高齢者が安心できる地域である。</p> <p>○福祉ボランティアの活動が盛んである。</p> <p>●一人暮らしの高齢者世帯が増加している。</p> <p>●地域の相互扶助が希薄化してきている。</p> <p>●福祉マンパワーが不足し, 要援護者を見守る人が少ない。</p> <p>●移動の手段がない独居高齢者が増加している。</p>	<p>○福祉施設が充実して高齢者が安心できる地域である。</p> <p>○総合運動公園やプール等の体育施設が充実している</p> <p>○スポーツのまちとしてスポーツが盛んである。</p> <p>●アピール不足もあり, スポーツ大会の住民参加者が低い。</p> <p>●塩分の摂り過ぎなど, 食育に関する意識が低い。</p>	<p>○防災訓練が毎年実施されるなど, 地域の防災意識が高い。</p> <p>○防犯パトロールが実施され, 地域の防犯意識が高い。</p> <p>○地域内3箇所で交通安全運動を実施している。</p> <p>●消火器・火災報知機の普及率が低いなど防災意識が薄い。</p> <p>●交通モラルの低下が見られ, 交通ルールを遵守しない。</p>



課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な交流の場を増やし, 高齢者を孤立させない地域にする必要がある。</li> <li>・高齢者等外出困難者の移動手段を確保し, 地域内の移動を可能にする必要がある。</li> <li>・助け合い精神を持ち, 住民が互いに思いやる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の有効利用と気軽に参加できるスポーツを通して, 健康づくりを進める必要がある。</li> <li>・食育に関する意識を向上させ, 健康に配慮した取り組みをする必要がある。</li> <li>・多様な機会を捉えて健康づくりの啓発を進め, 健康に対する意識を高める必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通ルールの遵守と交通マナーの向上に努める必要がある。</li> <li>・災害に対する高い意識を持ち, 地域の防災力を高める必要がある。</li> <li>・地域ぐるみで防犯に対する意識を高める必要がある。</li> </ul>
----	--	---	---



目標	みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」	健康で生きがいのある生活ができる「まち」	やすらぎのある暮らしができる安全・安心な「まち」
----	----------------------	----------------------	--------------------------

## (2) 実現方策と実現プラン

### 【福祉】

#### 目 標

### みんなの思いやる心で幸せを感じる「まち」

(実現方策1) 世代を超えた交流の場を充実させる

#### 《実現プラン》

- ① 地域施設を活用し地域サロンを開設する。
- ② 昔遊びを通して世代を超えた交流を行う。

(実現方策2) 誰もが気軽に利用できる移動手段を確保する

#### 《実現プラン》

- ① 買い物困難者が身近なところで買い物できる場をつくる。
- ② さぎそう河内号の利用を広めて、誰もが気軽に外出できるようにする。

(実現方策3) 地域が連携して住民の生きがいをづくりをする

#### 《実現プラン》

- ① 地域で生きがいをづくりの場を作る。
- ② 地域の人材を生かした講座や教室を開催する。



## 【健康】

### 目 標

#### 健康で生きがいのある生活ができる「まち」

(実現方策4) 誰もが楽しめるスポーツを通して健康増進を図る

《実現プラン》

- ① ウォーキングマップのルートを作成しウォークラリーを開催する。
- ② 地域の施設を利用したスポーツ教室を開催する。

(実現方策5) 食育や地産地消を通して健康づくりを進める

《実現プラン》

- ① 食育セミナーを開催する。
- ② 地区内でとれた農産物を使ったグルメコンテストの開催をする。

(実現方策6) ひとりひとりの健康に対する意識を高める

《実現プラン》

- ① 健診に合わせて、地域で健康イベントを開催する。
- ② 地域で体力テストを実施する。

## 【安全・安心】

### 目 標

#### やすらぎのある暮らしができる安全・安心な「まち」

(実現方策7) 交通安全意識を高めて安全で安心な交通環境づくりを進める

##### 《実現プラン》

- ① 交通安全教室を開催する。
- ② 地域の危険マップを作成し、危険箇所での安全指導をする。

(実現方策8) 防災意識を地域に浸透させて防災行動力を高める

##### 《実現プラン》

- ① 自治会で避難訓練等を実施し、防災意識を高める。
- ② 自治会掲示板等を活用した緊急時の情報伝達を実施する。

(実現方策9) 防犯意識を高めて地域の防犯力の向上を図る

##### 《実現プラン》

- ① 警察・学校・家庭と連携して防犯教育を行う。
- ② 声かけあいさつ運動を実施する。

## 5. 「産業・経済，観光」(平成26年度)

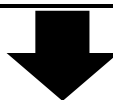
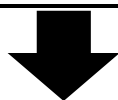
(1) 現状と課題と目標

○⇒強み, ●⇒弱み

	産業・経済	観光
現 状	○ _____	○ _____
	○ _____	○ _____
	○ _____	○ _____
	● _____	● _____
	● _____	● _____



課 題	・ _____	・ _____
	・ _____	・ _____
	・ _____	・ _____



目 標	・ _____	・ _____
	_____	_____

(2) 実現方策と実現プラン

【産業・経済】

目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(実現方策 1) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

《実現プラン》

- ①
- ②

(実現方策 2) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

《実現プラン》

- ①
- ②
- ③

(実現方策 3) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

《実現プラン》

- ①
- ②
- ③

【観光】

目 標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(実現方策4) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

《実現プラン》

- ①
- ②
- ③

(実現方策5) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

《実現プラン》

- ①
- ②
- ③

(実現方策6) ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

《実現プラン》

- ①
- ②
- ③

## 6. 審議の経緯

### 平成25年度

- 平成25年 4月24日 第1回自治会議  
・地域のまちづくりに関する施策の提案について説明
- 平成25年 6月26日 第3回自治会議  
・個別テーマの現状把握の検討
- 平成25年 7月30日 第4回自治会議  
・個別テーマの現状把握の確定・課題抽出の検討
- 平成25年10月25日 第5回自治会議  
・課題抽出の確定  
・10年後の目標設定の検討
- 平成25年12月13日 第6回自治会議  
・目標の確定, 実現方策の検討
- 平成26年 2月19日 第7回自治会議  
・実現方策の確定, 実現プランの検討

### 平成26年度

- 平成26年 4月 ○日 第1回自治会議  
・実現プランの確定
- 平成26年 5月 ○日 第2回自治会議  
・個別テーマの現状把握の検討
- 平成26年 6月 ○日 第3回自治会議  
・個別テーマの現状把握の確定  
・課題抽出の検討
- 平成26年 7月 ○日 第4回自治会議  
・課題抽出の確定  
・目標設定の検討
- 平成26年 9月 ○日 第5回自治会議  
・目標設定の確定  
・実現方策, 実行プランの検討
- 平成26年10月 ○日 第6回自治会議  
・実現方策, 実行プランの確定  
・提案書(案)の検討
- 平成27年12月 ○日 第7回自治会議  
・提案書(案)の確定

## 7. 委員名簿

会 長	杉 原	弘 修
副会長	川 上	幸 子
委 員	大谷津	健 敏
委 員	小 野	章
委 員	加 藤	幸 雄
委 員	君 島	京 子
委 員	小 森	光 晴
委 員	櫻 井	基一郎
委 員	関 口	啓 子
委 員	多田出	芳 子
委 員	永 井	寛
委 員	中 澤	敏 美
委 員	中 村	房 夫
委 員	船 橋	あけみ
委 員	宗 像	茂
委 員	森	由利子
委 員	山 田	ちい子
委 員	山 田	祐 子
委 員	我 妻	勝 次
委 員	若 林	知

(※委員名は、会長・副会長を除き50音順)